

(様式1)

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2018年6月29日

| | | | | | |
|-------------------------|---|----|---|----------|----------------|
| ①事業者名 | ケンブリッジ大学英語検定機構（英語表記：Cambridge Assessment English） | | | | |
| ②測定ツール名 | ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools (PB/CB) | | | | |
| ③主な対象者 | 高校1～2年生。CEFR 基礎レベルのA1-A2からB1に届く3つのレベルを正確に測定 | | | | |
| ④対象教科 | 国語 | 数学 | 英語 | ⑤測定内容の区分 | 基本タイプ 標準タイプ |
| | | | ○ | | ○ |
| ⑥申請する測定ツールの目的・概要 | 学習者が実生活のさまざまな状況でのコミュニケーションのために英語をどのように使うことができるかを評価する。国際通用性が高く、高等教育機関への扉を開き、就業の機会を高め、勉学や仕事の選択肢を広げていく。 A2 Keyは世界の扉を開く自分だけの鍵Keyを作ることをサポートします。 | | | | |
| ⑦申請する測定ツールの特長・活用例等 | 日常的に用いる英語をどれだけ学習したかを測ることが意図された出題です。検定教科書のコミュニケーション英語Iおよび英語表現Iの目標に合致した内容となっています。 1年間の試験回数はPB/CB合わせて31回（世界共通）※問題セットはすべて異なる | | | | |
| ⑧実施期間、年間実施回数 | 年間実施回数 計31回 PB：20回 CB：11回 PB：3月[2] 4月[2] 5月[6] 6月[4] 8月[1] 10月[2] 11月[1] 12月[2] CB：2月[1] 3月[1] 4月[1] 5月[1] 6月[2] 7月[1] 9月[1] 10月[1] 11月[1] 12月[1] | | | | |
| ⑨実施方式（CBT/PBT） | PBT/CBT ※A2 Key for SchoolsはCBT/PBT両方の実施方式があるが、いずれもスピーキングはペア型面接です。（受検者2名のやり取り） | | | | |
| ⑩試験時間(分) | 国語 | 数学 | 英語 R&W:1時間10分 L:約30分 S:約8-10分 計 約1時間50分 | | |
| ⑪受検料 | 公開会場の場合、9,720円（税込）／回 ※自校実施の場合、会場提供の協力費として最大20%割引できる可能性があります。ただし、遠隔地の学校の場合、スピーキング試験官および試験監督の派遣費用が別途掛かりますこと、予めご了承ください。 | | | | |
| ⑫標準返却期間 | 試験日の7～8週間後に、英国にて発行された「結果ステートメント」と、一定の基準に達した方には「認定証」を郵送でお送りします。 ※オンラインサービスにてPBT試験日の6週間後に、またCBT試験日の2～3週間後に確認できます。 | | | | |
| ⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介) | http://www.cambridgeenglish.org/jp/exams-and-tests/key/ | | | | |

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：ケンブリッジ大学英語検定機構(英語表記:Cambridge Assessment English)

測定ツール名：ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools(PB/CB)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

【対象者】 高校1～2年生。CEFR レベル A1～B1 (Cambridge English スケールスコア 100～150)

【測定しようとする資質・能力】 読むこと／書くこと、聞くこと、話すこと

【出題範囲】 義務教育段階の学習内容、共通必履修科目「コミュニケーション英語 I」および「英語表現 I」の範囲

【知識・技能を問う問題の出題方針】

選択式問題(Reading, Listening)

【思考力・判断力・表現力等を問う問題の出題方針】

短答式問題(Listening, Writing)、記述式問題(Writing)、ペア型面接(Speaking)

【学習指導要領との対応】 ※補足資料 1-1「高等学校学習指導要領との整合性」および 1-2「中学校学習指導要領との整合性」を参照ください。

【出題形式】

Reading&Writing：選択式、短答式および記述式 1時間 10分

Listening：選択式、短答式 約 30分

Speaking：受検者2名のペアで受ける対面式 約 8～10分 計 約 1時間 50分

【難易度】 CEFR A2 レベルを合格基準とし、A1～B1 レベルの範囲

(2)構成等

①出題形式

補足資料2「出題フレーム」を参照ください。

Reading:選択肢問題(3択または8択)35問

Writing:短答式問題20問、記述式問題1題

Listening:選択肢問題(3択または8択)15問、短答式問題10問 ※CD再生機

Speaking:タスク2題 ※スピーキング試験官2名(1:質問役かつ全体評価 2:評価スケールごとの詳細評価(会話に加わらない))

②出題範囲

義務教育段階の学習内容、共通必履修科目「コミュニケーション英語 I」および「英語表現 I」の範囲。義務教育段階の内容は CEFR A1 レベル相当から、高等学校段階の内容は A2 レベルを中心に B1 レベルまで出題。

配点：Reading&Writing=50% Listening=25% Speaking=25%

(3)難易度設定の考え方・方法

CEFR A2 レベルを合格基準とし、A1～B1 の3レベルの範囲を測定

<作問のプロセス>

テストのタスクや素材は、電子アイテムバンクから選び出し、実施する試験ごとに異なる内容の問題が作成されます。アイテムバンクのテスト項目はトライアル(Writing, Speaking)、プレテスト(Reading, Listening)を通じて評価・分析され、基準を満たすことが確認されたテスト問題はアイテムバンクに加えられ、常に新しい素材で更新されます。したがって、ケンブリッジ英語

検定の試験問題は、バージョンが異なっても必ず同じ難易度基準になるように作問されていると言えます。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

「基礎段階の言語使用者」向けの実践的なコミュニケーション力を測定する試験です。リーディング問題の3択(True/False/Doesn't say)で答える設問はIELTSの3択(True/False/Not Given)で答える基礎的問題に通じるなど、基礎問題でありながら世界への扉を意識させるものです。

※「for Schools」は、主に成人学習者を対象とするA2 Keyと同じ形式かつレベルのテストであり、中高生の経験及び関心に適切な内容に対応した試験となっています。

(5) その他特長

年間で計31回(PB:20回 CB:11回)程度(2018年実績)、試験は実施されますが、すべて問題セットは異なります。どの回を受検しても受検者の母集団に関係なく難易度基準は同じです。2019年(1月～12月)の具体的な試験日程は、補足資料3「2019年 試験日程」を参照ください。

II. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

【結果提供項目】

技能別のCEFRレベル、Cambridge English スケールスコア

Reading and Writing (A1～B1, 82～150)

Listening (A1～B1, 82～150)

Speaking (A1～B1, 82～150)

総合評価(Overall) (A1～B1, 82～150) ※スコア計算式 $(RW \times 2 + L + S) \div 4$

総合評価による認定の区分: Pass with Distinction (B1 140-150)

Pass with Merit (A2 133-139),

Pass (A2 120-132)

Level A1 (100-119)

認定なし (82-99)

【発行される証明書2種】補足資料4「認定証(Certificate)」 補足資料5「結果ステートメント(Statement of Result)」

① 認定証(Certificate) [Level A1以上の受検者] ※A1に達しない受検者は発行無し

② 結果ステートメント(Statement of Result) [全受検者]

【返却方法】

本人用: 試験日の7～8週間後に、英国で発行された紙媒体を学校を通じて返却

※オンラインサービスにてPBTは試験日の6週間後に、CBTは試験日の2～3週間後に確認可

学校用: 世界標準の成績結果提供とは別に、日本独自サービスとして日本国内の認定試験センターおよび日本統括にて、学校単位で各試験日ごとあるいは通年・経年での各種資料を作成し提供

【受検者本人に対する学習意欲の喚起】

国際標準の英語力指標であるCEFRに完全準拠した精度の高い技能別の結果が得られ、ケンブリッジ大学の紋章がカラー印刷された認定証(Certificate)が英国より届くことで学習意欲が大いに高まることが期待できる。

(2) 学校等への結果提供内容・方法

【個人成績一覧表】※Excel 形式

技能別および総合評価(Overall)の CEFR レベルと Cambridge English スケールスコア

【学校単位の成績概況】※PDF 形式

学校単位での技能別の平均スコア、スコア分布など成績結果の概況を提供します。

【国際比較】

近隣アジア諸国との比較資料を提供しますので県内および国内の高校との比較競争ではなく、国際基準で英語の習得を目指す意識を高めていただきたいと思います。

補足資料 6「学校に提供する報告資料サンプル」

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

【世界標準の CEFR レベルを正確に測定】

ケンブリッジ英語検定の受検者は世界中にいるため、成績結果は世界標準の CEFR レベルで判定する必然性があります。さらに詳細なレベル識別性は Cambridge English スケールスコアで実現しています。※Cambridge English スケールはスコア 80-230 の 150(点)刻みです。

【結果ステートメントには Can-Do ステートメントも掲載】

成績結果の CEFR レベルに対して、学習の指針となる Can-Do ステートメントを掲載、受検者の現在の英語力を解説する文章(英文)を読むことで学習モチベーションが高まります。

【試験問題は回収します】

IRT 理論に基づいた試験は必ず問題を回収しますので、具体的な正答状況は開示しません。したがって、受検後に正誤状況を見ながらの復習はできませんが、精度の高い CEFR レベルおよび Cambridge English スケールスコアが判明することで、次の学習目標が必然的にわかるはずで、試験範囲の決まっている学校の定期試験とはテスト設計理念が異なりますのでご注意ください。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

テストのタスクや素材は、電子アイテムバンクから選び出し、実施する試験ごとに異なる内容の問題が作成されます。アイテムバンクのテスト項目は問題作成の専門家チームが作成を担当。テスト項目の作成者は英語教授法分野に精通し、作問に関しても豊富な経験を持っています。このチームは試験の内容が世界のあらゆる国の受検者にとって適切で、必要な品質基準を満たすことができるよう規定している厳格なガイドラインに従って作問しています。

＜作問のプロセス＞

アイテムバンクのテスト項目はトライアル(Writing, Speaking)、プレテスト(Reading, Listening)を通じて評価・分析され、基準を満たすことが確認されたテスト問題はアイテムバンクに加えられ、常に新しい素材で更新されます。したがって、ケンブリッジ英語検定の試験問題は、バージョンが異なっても必ず同じ難易度基準になるように作問されていると言えます。

(2) 学校における実施方法

【学校の役割】

- ・ 試験会場の提供
- ・ 円滑な試験運営のための教室配置等のプラン策定の協力
- ・ 当日、受検者の試験実施教室への誘導 ※ただし、試験実施エリアに学校関係者は立入禁止

【ケンブリッジ英語検定 認定試験センターの役割】

- ・試験監督者の派遣（試験資材の開封、配付、回収）
- ・スピーキング試験官（2名1組）の派遣

補足資料7「実施要項（試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等）」

補足資料8「試験運営マニュアル（抜粋）」

(3)採点の方法と体制

<Reading&Writing, Listening> 英国にて答案スキャン後、自動採点

<Writing> 英国にて答案スキャン後、ケンブリッジ認定の採点官が採点

- ・高機能オンライン評価システム＝採点スキルを認証する質保証システム
- ・プロフェッショナルな試験官チーム編成
- ・Cambridge オンライン評価者システム＝システムを通じて採点官をモニタリング
- ・オンライン試験官管理システム

<Speaking> 日本にて各試験会場でペア型面接を実施

ケンブリッジ認定の試験官が採点

- ・新スピーキング試験官候補者のリクルート、登録

↓

- ・(オンラインで自習) 事前トレーニング

↓

- ・(対面式) 試験官養成トレーニング

↓

- ・(オンライン) 認証トレーニングおよび(対面式もしくはメール・電話による) 認証トレーニング

↓

- ・認定後も1年に1回実施
- ・2年に1回モニタリングを受ける

(4)情報管理体制

英国本部は情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS, ISO27001)を取得し、世界標準の情報管理体制を全世界で実現しています。GDPR (General Data Protection Regulation: EU 一般データ保護規則*) に対応した契約書を英国本部と交わしている認定試験センターが試験実施運営を行ないます。

*2018年5月より施行されている、基本的人権の保護という観点に立ってプライバシーに関する規制と違反時の制裁を厳しく取り決めた規則

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

次のような場合、受検が可能になる様々な受検上の配慮を講じています。

- ・視覚障害 ・聴覚・言語障害 ・学習障害

<http://www.cambridgeenglish.org/jp/help/special-requirements/>

【事前申請が必要】

受検上の配慮事項の準備には数か月かかる場合がありますので、できるだけ早く最寄りの認定試験センターにお申し込みください。

<試験センターの受検サポート>

- ・申込締切日をお伝えします（配慮の内容により試験日の数か月前になることがあります）
- ・視覚障害の状況について、どのようなサポートが必要とされているかを詳しくうかがいます

・受検に必要な配慮事項を手配します

詳しくはこちらを参照ください。

<http://www.cambridgeenglish.org/jp/help/special-requirements/>

補足資料 9「身体上の障害にかかる受検上の配慮(公式サイトより抜粋)」

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

ケンブリッジ英語検定は事前に特別な試験対策を講じる必要はないと考えます。ただし、事前にサンプル問題に目を通しておくことを推奨しています。

サンプル問題および様々な準備教材（すべて無料）

<http://www.cambridgeenglish.org/exams-and-tests/key-for-schools/preparation/>

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

ケンブリッジ英語検定の世界標準としては学習状況等のアンケートはありません。今後、学校や教育委員会などからの要請があれば、日本においてローカルな対応を検討します。

(4) 個人受検の可否

ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools は日本全国および世界 130 か国以上にある認定試験センターを通じて、申し込めば受検は可能です。

(5) 問題内容の情報提供

補足資料 10「Handbook for teachers (抜粋)」にて、サンプル問題一式、正答例、評価基準などがまとめて確認できます。

Listening 音声を含めたサンプル問題および様々な準備教材（すべて無料）はこちらからダウンロードできます。

<http://www.cambridgeenglish.org/exams-and-tests/key-for-schools/preparation/>

(6) その他

■ A2 Key for Schools を受検する準備が生徒にできているかは、レベルチェックテスト(無料)で参考にしてください。<http://www.cambridgeenglish.org/jp/test-your-english/> 短時間でレベルチェックができるオンラインテストです。あなたのレベルに最も適したケンブリッジ英語検定 (Cambridge English Qualifications) のレベルがわかります。

■ ライティング自動添削システム「Write and Improve」

<https://writeandimprove.com/>

無償の英作文自動添削システムで、どなたでもお使いいただけます。

使用方法は以下の通り簡単です。

- 1) Practise writing English
- 2) Get your grade in seconds
- 3) Look at the feedback and make changes
- 4) Keep improving!

授業内のアクティブ・ラーニングや自学習のツールとして、また英語教員のエッセーライティング力の向上にご活用ください。

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名：ケンブリッジ大学英語検定機構(英語表記: Cambridge Assessment English)

測定ツール名：ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools (PB/CB)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

< 提出任意の書類等 >

| 書類等の内容 | 書類等の名称 | 資料番号 | 対応する認定基準 | | | | |
|---------------------------|-------------------|---------|----------|--------|--------|--------|--------|
| | | | I. (1) | I. (2) | I. (3) | I. (4) | I. (5) |
| 高等学校学習指導要領との整合性(逆引き) | 「高等学校学習指導要領との整合性」 | 補足資料1-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 中学校学習指導要領との整合性(逆引き) | 「中学校学習指導要領との整合性」 | 補足資料1-2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A2 Key for Schools 出題フレーム | 「出題フレーム」 | 補足資料2 | | | ○ | ○ | ○ |
| 2019年 試験日程(世界共通) | 「2019年 試験日程」 | 補足資料3 | | | | | |

II. 結果提供に関すること

< 提出任意の書類等 >

| 書類等の内容 | 書類等の名称 | 資料番号 | 対応する認定基準 | |
|-------------------------------------|----------------------------------|-------|----------|---------|
| | | | II. (1) | II. (2) |
| 認定証(Certificate) サンプル | 「認定証(Certificate)」 | 補足資料4 | | ○ |
| 結果ステートメント(Statement of Result) サンプル | 「結果ステートメント(Statement of Result)」 | 補足資料5 | | ○ |
| 学校に提供する報告資料サンプル | 「学校に提供する報告資料サンプル」 | 補足資料6 | ○ | ○ |

III. 運営に関すること

< 提出必須の書類等 >

| 書類等の内容 | 書類等の名称 | 資料番号 |
|----------------------------------|-----------------|-------|
| 実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等) | 「実施要項(試験の概要)」 | 補足資料7 |
| 学校用実施マニュアル | 「試験運営マニュアル(抜粋)」 | 補足資料8 |

< 提出任意の書類等 >

| 書類等の内容 | 書類等の名称 | 資料番号 |
|------------------|--------------|-------|
| 2019年 試験日程(世界共通) | 「2019年 試験日程」 | 補足資料3 |

IV. 情報開示に関すること

< 提出任意の書類等 >

| 書類等の内容 | 書類等の名称 | 資料番号 |
|---------------------|-------------------------------|--------|
| 身体上の障害にかかる受検上の配慮 | 「身体上の障害にかかる受検上の配慮(公式サイトより抜粋)」 | 補足資料9 |
| サンプル問題一式、正答例、評価基準など | 「Handbook for teachers(抜粋)」 | 補足資料10 |

ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools

実施要項 (試験の概要)

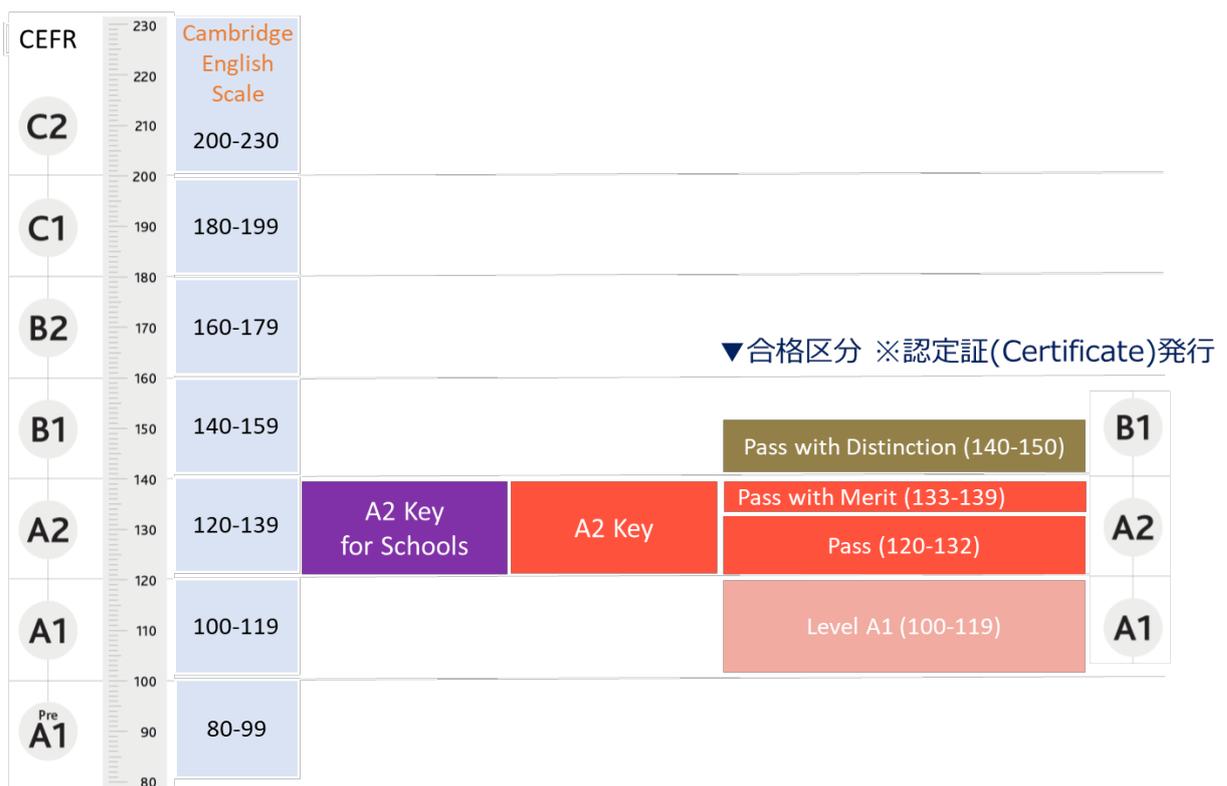
- ◇ 実施方式：PB(ペーパー版テスト) / CB(コンピューター版テスト)の2種類
 - PB：リーディング & ライティング、リスニング
 - CB：リーディング & ライティング、リスニング
 - ※スピーキング試験はいずれもペア型面接です。受検者同士の「やり取り」を含め評価
- ◇ 標準返却期間

試験後、7~8 週間後。英国にて発行された「結果ステートメント」を受検者全員へお送りします。また、一定の基準に達した方には、「認定証」も併せてお届けします

※試験後 6 週間後から、受検票記載の ID Number と Secret Number をもとに、Candidate Website (英語のみ) より結果をご確認いただけます。
- ◇ 実施期間

世界共通の試験日に、PB/CB いずれもリーディング & ライティング、リスニングを必ず実施します。スピーキング試験は別日に実施する場合があります。
- ◇ 標準受検料

9,720 円 (税込)
- ◇ 合格区分スコア



■ Reading and Writing (配点：全体の 50%) 1 時間 10 分

内容 「読む」「書く」試験には、9つのパートがあり、主な出題内容・方法は以下の通りです。

- ・ 標識 (サイン) に説明文をマッチングさせる
- ・ 短文の空所補充
- ・ 会話者への返答として内容に合った答えを選ぶ
- ・ やや分量の多い文章の読み取り
- ・ 綴りの知識
- ・ メモやメールを読み、情報をまとめる
- ・ 問題の指示にしたがって文章を書く (25-35 語程度)

測定されるスキル (出題意図)

- ・ 実生活に存在している標識や看板を理解する
- ・ 文章を理解して正しい単語や答えを選ぶ
- ・ 会話を正しい順番に並べる
- ・ 単語の正しい綴りがわかる
- ・ 正しい単語を選んで文章を完成させる
- ・ 重要な情報を補充して文章を完成させる
- ・ 短いメモ、メールや手紙を書く

■ Listening (配点：全体の 25%) 約 30 分

内容 「聞く」試験には、5つのパートがあり、主な出題内容・方式は次の通りです。

- ・ 短い会話を聞いて、内容に合う絵を選ぶ
- ・ 長めの会話文を聞いて、リストをマッチングさせる
- ・ 会話を聞いて、内容に合う選択肢を選ぶ
- ・ 一人もしくは二人の会話を聞いて、欠けている単語を書き入れる

測定されるスキル (出題意図)

- ・ 短めの会話、長めの会話、話者一人のモノログに含まれる重要な情報を聞き取る
- ・ 重要な情報を聞いて、書きとめ、単語の綴りを正しく書く

■ Speaking (配点：全体の 25%) 約 8~10 分

内容 受検者 2 名のペアで受ける対面式試験 「話す」試験には 2 つのパートがあります。

最初のパートでは、試験官と「お互いを理解する」ための質疑応答をします。次のパートでは、カードを読み、ペアを組んでいるもう一人の受検者と質疑応答をします。

測定されるスキル (出題意図)

- ・ 自分に関する質問に答える
- ・ カードを読み、不足している情報を得るためにもう一人の受検者に質問する
- ・ カードを読み、もう一人の受検者の質問に答える

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：ケンブリッジ大学英語検定機構(英語表記: Cambridge Assessment English)

測定ツール名：ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools(PB/CB)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

以下3点が補足資料となります。ご参照ください。

補足資料 1-1 「高等学校学習指導要領との整合性」

補足資料 1-2 「中学校学習指導要領との整合性」

補足資料 2 「出題フレーム」

試験の目的・出題方針について

日常的な言語使用場面における4技能の運用能力を問う出題となっている。これは、「言語パフォーマンスは、現実のコミュニケーションにおいて観察され、測られるべき」という Cambridge English の理念を反映している。すべてのパートにおいてこの思想が一貫しており、基本的な言語運用能力を確認することに適したテストであり、日常的に用いる英語をどれだけ学習したかを測ることが意図された出題である。このことは、生徒の日頃の英語の学習意欲を高めることにつながる。当レベルは、CEFR A2 レベルの力を測る試験であり「日常生活で遭遇することばの理解ができる。例えば、日常生活に関連した基本的なフレーズや表現を使ったり、理解したり、また自己紹介をしたり、基本的な質問や個人的なことに関する質問に答えることができる」ことを目的としている。これはコミュニケーション英語 I の目標「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う」、英語表現 I の目標「英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う」に合致していると言える。

※A2 Key for Schools は、主に成人学習者を対象とする A2 Key と同じ形式かつレベルのテストであるが、生徒の経験及び関心に適切な内容に対応した試験である。

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|---|---|
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>短い説明文を読んで日常的に見かける<u>サイン看板の意味</u>を理解することができる</p> | <p>設問数、出題形式等</p> <p>Reading Part 1 【設問数】5問 【出題形式】選択式(8択)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher(抜粋)」にサンプル問題一式を掲載</p> |
| <p>読むこと</p> | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミI(1)イ「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミI(2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んで読みたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>読むこと(7)「文字や符号を識別し、正しく読むこと」</p> <p>読むこと(8)「伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること」</p> |

(様式4)

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|--|---|
| 測定しようとする資質・能力 の具体的内容 | 設問数、出題形式等 |
| <p>文章を読んで内容を理解し、 文中の空所に入る<u>語彙</u>を特定 することができる</p> | <p>Reading Part 2 【設問数】 5 問 【出題形式】 選択式 (3 択)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサン プル問題一式を掲載</p> |
| <p>領域又は事項 読むこと</p> | <p>科目名及び内容</p> <p>高等学校学習指導要領 コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに 注意しながら読んだり書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領 読むこと (7)「文字や符号を識別し、正しく読むこと」</p> |

(様式4)

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|--|---|
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>二人での会話のやり取りを続ける適切な対応を選択することができるとができる</p> | <p>設問数、出題形式等</p> <p>Reading Part 3 【設問数】10問 【出題形式】選択式(3択)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサンプル問題一式を掲載</p> |
| <p>読むこと</p> | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)イ「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んで書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>読むこと (オ)「話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること」</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|---|---|
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>長めの文章を読み、その内容の要点を示す文章が正しいかどうか判断することができる</p> | <p>設問数、出題形式等</p> <p>Reading Part 4 【設問数】7問 【出題形式】選択式(3択)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサンプル問題一式を掲載</p> |
| <p>読むこと</p> | <p>高等学校学習指導要領 コミ I (1)イ「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」 コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んで書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領 読むこと (ウ)「物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること」</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|--|--|
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>事実に基づき文章の中にある空所に<u>文法</u>として正しい語彙を選ぶことができる</p> | <p>設問数、出題形式等</p> <p>Reading Part 5 【設問数】8問 【出題形式】選択式(3択)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサンプル問題一式を掲載</p> |
| 読むこと | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること」</p> <p>コミ II (1)ウ「未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>読むこと (7)「文字や符号を識別し、正しく読むこと」</p> <p>読むこと (7)「物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること」</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | | |
|--|--|---|
| 測定しようとする資質・能力 の具体的内容 | 設問数、出題形式等 | 領域又は事項 |
| <p>ある<u>単語の定義文</u>を<u>読んで理解し、その単語を正しい綴りで書くことができる</u></p> | <p>Reading & Writing Part 6 【設問数】 5問 【出題形式】 短答式 (1文字目ヒント有)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサン プル問題一式を掲載</p> | <p>読むこと／書くこと</p> |
| | | <p style="text-align: center;">科目名及び内容</p> <p>高等学校学習指導要領 コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んで書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領 読むこと (7)「文字や符号を識別し、正しく読むこと」 書くこと (7)「文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと」</p> |

(様式4)

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | | |
|--|---|--|
| 測定しようとする資質・能力 の具体的内容 | 設問数、出題形式等 | 領域又は事項 |
| <p>文章の中にある空所に適切な 語彙を<u>正しい綴り</u>で書くこと ができる</p> | <p>Reading & Writing Part 7 【設問数】 10 問 【出題形式】 短答式</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサン プル問題一式を掲載</p> | <p>読むこと／書くこと</p> |
| | | <p>科目名及び内容</p> <p>高等学校学習指導要領 コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに 注意しながら読んで書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領 読むこと (ウ)「物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み 取ること」 書くこと (ア)「文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正 しく書くこと」</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | | |
|--|--|--|
| 測定しようとする資質・能力 の具体的内容 | 設問数、出題形式等 | 領域又は事項 |
| 短めの2つの文章を読んで、 <u>要点をメモ</u> することができる | Reading & Writing Part 8 【設問数】 5問 【出題形式】 短答式 ※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサン プル問題一式を掲載 | 読むこと／書くこと |
| | | <p>高等学校学習指導要領 コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに 注意しながら読んだり書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み 取ること」 書くこと (ア)「文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正 しく書くこと」</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|---|---|
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>相手が書いた文章を理解し、メモ書きやEメール、ハガキといった短い文章を書くことができる</p> | <p>設問数、出題形式等</p> <p>Writing Part 9 【設問数】1問 【出題形式】記述式 (25-35語の英作文)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサンブル問題一式を掲載</p> |
| <p>書くこと</p> | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)イ「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (1)エ「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く」</p> <p>コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること」</p> <p>表現 I (1)イ「読み手や目的に応じて、簡潔に書く」</p> <p>表現 I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また、書いた内容を読み返すこと」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>書くこと (4)「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと」</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|--|---|
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>短い対話を聞いて、<u>重要な情報</u>を特定し、正しいビジュアルを選ぶことができる</p> | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)ア「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>聞くこと (7)「強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること」</p> <p>聞くこと (1)「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること」</p> |
| <p>設問数、出題形式等</p> <p>Listening Part 1</p> <p>【設問数】5問</p> <p>【出題形式】ビジュアル選択式(3択)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサンプル問題一式を掲載</p> | <p>聞くこと</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|--|---|
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>対話を聞きながら、<u>重要な情報を取り出す</u>ことができる</p> | <p style="text-align: center;">設問数、出題形式等</p> <p>Listening Part 2 【設問数】5問 【出題形式】選択式(8択)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサンブル問題一式を掲載</p> |
| 聞くこと | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミI(1)ア「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミI(2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>聞くこと(7)「強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること」</p> <p>聞くこと(イ)「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること」</p> <p>聞くこと(オ)「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること」</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | | |
|---|---|--|
| 測定しようとする資質・能力 の具体的内容 | 設問数、出題形式等 | 領域又は事項 |
| <p>長めの対話を聞きながら、要点を理解し、<u>内容に対する質問に答えることができる</u></p> | <p>Listening Part 3 【設問数】 5問 【出題形式】 選択式 (3択) ※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサン プル問題一式を掲載</p> | <p>聞くこと</p> |
| | | <p>科目名及び内容</p> <p>高等学校学習指導要領 コミ I (1)ア「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」 コミ I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること」</p> <p>中学校学習指導要領 聞くこと (7)「強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること」 聞くこと (1)「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること」 聞くこと (7)「質問や依頼などを聞いて適切に応じること」</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|---|--|
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>対話を聞きながら、メモ欄に適切な語句を正しい綴りで書くことができる</p> | <p>設問数、出題形式等</p> <p>Listening & Writing Part 4 【設問数】 5問 【出題形式】 短答式</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサン プル問題一式を掲載</p> |
| <p>聞くこと／書くこと</p> | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)ア「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること」</p> <p>コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら…書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>聞くこと (ア)「強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること」</p> <p>聞くこと (イ)「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること」</p> <p>聞くこと (ウ)「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること」</p> <p>書くこと (ア)「文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと」</p> |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|---|--|
| 領域又は事項 | 科目名及び内容 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>モノローグを聞きながら、メモ欄に<u>適切な語句を正しい綴りで書くことができる</u></p> | <p>設問数、出題形式等</p> <p>Listening & Writing Part 5 【設問数】 5問 【出題形式】 短答式</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサン プル問題一式を掲載</p> |
| <p>聞くこと／書くこと</p> | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)ア「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること」</p> <p>コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら…書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>聞くこと (ア)「強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること」</p> <p>聞くこと (イ)「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること」</p> <p>聞くこと (オ)「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること」</p> <p>書くこと (ア)「文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと」</p> |

| 測定しようとする資質・能力の具体的内容 | | (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|---|--------|---|--|
| 設問数、出題形式等 | 領域又は事項 | 科目名及び内容 | |
| <p>Speaking Part 1</p> <p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】面接 (面接官からの質問に答える)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサンプル問題一式を掲載</p> | 話すこと | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)ア「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>話すこと (7)「強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること」</p> <p>話すこと (1)「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」</p> | |

| (参考) 学習指導要領の関連項目 | |
|--|---|
| 設問数、出題形式等 | 領域又は事項 |
| <p>測定しようとする資質・能力の具体的内容</p> <p>受検者二人のやり取りを通して、友人や知人との会話を続けられることができる</p> | <p>話すこと</p> |
| <p>Speaking Part 2</p> <p>【設問数】1問</p> <p>【出題形式】面接</p> <p>(もう一人の受検者とのやり取り)</p> <p>※ 補 足 資 料 10 「 Handbook for teacher (抜粋)」にサンブル問題一式を掲載</p> | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)ア「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (1)イ「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大ききなどに注意しながら聞いたり話したりすること」</p> <p>表現 I (1)ア「与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す」</p> <p>表現 I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大ききなどに注意しながら話すこと」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>話すこと (7)「強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること」</p> <p>話すこと (7)「聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること」</p> <p>話すこと (7)「与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること」</p> |
| 科目名及び内容 | |

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：ケンブリッジ大学英語検定機構(英語表記:Cambridge Assessment English)

測定ツール名：ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools(PB/CB)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号)：Reading and Writing Part 4 (Reading)

以下4点が補足資料となります。ご参照ください。

補足資料 1-1 「高等学校学習指導要領との整合性」

補足資料 1-2 「中学校学習指導要領との整合性」

補足資料 2 「出題フレーム」

補足資料 10 「Handbook for teachers (抜粋)」※サンプル問題一式、正答例、評価基準など記載

| | | | | |
|--------------------|--|------------|--------------|----------|
| 出題科目 | 英語 Reading and Writing Part 4 (Reading) | | | |
| 出題のポイント | 少し長めの英文の要点および詳細な内容を理解する力を測る問題 | | | |
| 主として問う能力 | 小問番号 Q. 21-27 | 知識・技能 ○ | 思考力・判断力・表現力等 | |
| 出題形式 | 小問番号 Q. 21-27 | 選択式 ○ | 短答式 | 記述式 |
| 主として問う技能 (英語のみ) | 小問番号 Q. 21-27 | 聞く | 読む ○ | 話す 書く |
| サンプル問題 | 次ページ以降に掲載 | | | |
| 解答例 | 次ページ以降に掲載 | | | |
| (参考)学習指導要領の関連項目 | 高等学校学習指導要領 コミ I (1)イ「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」 コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること」 中学校学習指導要領 読むこと (ウ)「物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること」 | | | |

Reading and Writing • Part 4

Questions 21 – 27

Read the article about a young swimmer.

Are sentences **21 – 27** 'Right' (**A**) or 'Wrong' (**B**)?

If there is not enough information to answer 'Right' (**A**) or 'Wrong' (**B**), choose 'Doesn't say' (**C**).

For questions **21 – 27**, mark **A**, **B** or **C** on your answer sheet.

Ana Johnson



Ana Johnson is a 13-year-old swimmer who lives in Melbourne in Australia. Her dream is to swim for Australia in the next Olympics.

She swims in both long and short races and she has already come first in many important competitions.

As well as spending many hours in the pool, Ana also makes time for studying and for friends. 'I have lots of friends who swim and we're very close. It's much easier to have friends who are swimmers because they also have to get up early to practise like me and they understand this kind of life. But I'm not so different from other people my age. In my free time I also enjoy going to the movies and parties. There are also some good things about swimming for a club. I travel a lot for competitions and I've made friends with swimmers from other Australian cities and from other parts of the world.'

Ana is becoming well known in Australia and she believes it is important to get more young people interested in swimming. 'I don't mind talking to journalists and having my photograph taken. But last year I was on TV and that was much more fun.'

Example:

0 Ana's home is in Melbourne.

A Right **B** Wrong **C** Doesn't say

Answer:

| | | | |
|----------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 0 | A | B | C |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

21 Ana hopes she will become an Olympic swimmer.

A Right **B** Wrong **C** Doesn't say

22 Ana knows that she is better at short races than long ones.

A Right **B** Wrong **C** Doesn't say

23 Ana has won a lot of swimming competitions.

A Right **B** Wrong **C** Doesn't say

24 It is difficult for Ana to make friends with other people who swim.

A Right **B** Wrong **C** Doesn't say

25 Ana likes doing the same things as other teenagers.

A Right **B** Wrong **C** Doesn't say

26 Ana has met people from different countries at swimming competitions.

A Right **B** Wrong **C** Doesn't say

27 Ana prefers speaking to journalists to being on television.

A Right **B** Wrong **C** Doesn't say

<解答>

Q Part 4

21 A

22 C

23 A

24 B

25 A

26 A

27 B

サンプル問題について

事業者名：ケンブリッジ大学英語検定機構(英語表記: Cambridge Assessment English)

測定ツール名：ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools(PB/CB)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号)：Reading and Writing Part 6

| | | | | |
|--------------------|--|-------|--------------|-----|
| 出題科目 | 英語 Reading and Writing Part 6 | | | |
| 出題のポイント | 英単語の定義文を読み、与えられた文字で始まる単語を正しい綴りが書けるか。 | | | |
| 主として問う能力 | 小問番号 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | |
| | Q. 40 | ○ | | |
| 出題形式 | 小問番号 | 選択式 | 短答式 | 記述式 |
| | Q. 40 | | ○ | |
| 主として問う技能 (英語のみ) | 小問番号 | 聞く | 読む | 話す |
| | Q. 40 | | ○ | ○ |
| サンプル問題 | Q.40 If you enjoy camping, you will need to take this with you. t _ _ _ | | | |
| 解答例 | tent | | | |
| (参考)学習指導要領の関連項目 | <p>高等学校学習指導要領 コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領 読むこと (ア)「文字や符号を識別し、正しく読むこと」 書くこと (ア)「文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと」</p> | | | |

サンプル問題について

事業者名：ケンブリッジ大学英語検定機構(英語表記: Cambridge Assessment English)

測定ツール名：ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools(PB/CB)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号)：Reading and Writing Part 9 (Writing)

| 出題科目 | 英語 Reading and Writing Part 9 (Writing) | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|--------------|-------|--------------|-------|-------|-------|--|---|--|---|--|--|--|
| 出題のポイント | Eメールを読み、情報を読み取ったり、返信メールを書くことが求められる。ライティング問題ではあるが、「読む」「書く」の2つの要素が必要となる技能統合型問題。また、文法や表記などのミスについて個別に減点をするのではなく、総合的なメッセージの伝達を評価することに重点を置いている。 | | | | | | | | | | | | | |
| 主として問う能力 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 25%;">小問番号</th> <th style="width: 40%;">知識・技能</th> <th style="width: 35%;">思考力・判断力・表現力等</th> </tr> <tr> <td>Q. 56</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> | 小問番号 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | Q. 56 | | ○ | | | | | | | |
| 小問番号 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | | | | | | | | | | | | |
| Q. 56 | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 出題形式 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 25%;">小問番号</th> <th style="width: 25%;">選択式</th> <th style="width: 25%;">短答式</th> <th style="width: 25%;">記述式</th> </tr> <tr> <td>Q. 56</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> | 小問番号 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | Q. 56 | | | ○ | | | | | |
| 小問番号 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | | | | | | | | | | | |
| Q. 56 | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 主として問う技能(英語のみ) | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 20%;">小問番号</th> <th style="width: 20%;">聞く</th> <th style="width: 20%;">読む</th> <th style="width: 20%;">話す</th> <th style="width: 20%;">書く</th> </tr> <tr> <td>Q. 56</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> | 小問番号 | 聞く | 読む | 話す | 書く | Q. 56 | | | | ○ | | | |
| 小問番号 | 聞く | 読む | 話す | 書く | | | | | | | | | | |
| Q. 56 | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| サンプル問題 | 次ページ以降に掲載 | | | | | | | | | | | | | |
| 解答例 | 次ページ以降に掲載 | | | | | | | | | | | | | |
| (参考)学習指導要領の関連項目 | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)イ「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (1)エ「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く」</p> <p>コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること」</p> <p>表現 I (1)イ「読み手や目的に応じて、簡潔に書く」</p> <p>表現 I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また、書いた内容を読み返すこと」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>書くこと (ウ)「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと」</p> | | | | | | | | | | | | | |

Reading and Writing • Part 9

Question 56

Read the email from your English friend, Alex.

| | |
|--------------|------|
| From: | Alex |
| To: | |

It's great you can come to my house this evening to watch a DVD. What time can you come? Which DVD do you want to watch? What would you like to eat?

Write an email to Alex and answer the questions.

Write **25 – 35** words.

Write the email on your answer sheet.

Assessment of Writing Part 9

Mark scheme for Writing Part 9

| Band | |
|------|---|
| 5 | <ul style="list-style-type: none">• Very good attempt at the task.• No effort is required of the reader.• All elements of the message are fully communicated. |
| 4 | <ul style="list-style-type: none">• Good attempt at the task.• Minimal effort is required of the reader.• All elements of the message are communicated. |
| 3 | <ul style="list-style-type: none">• Satisfactory attempt at the task.• Some effort is required of the reader.• All elements of the message are communicated. |
| OR | |
| | <ul style="list-style-type: none">• One content element omitted but others clearly communicated. |
| 2 | <ul style="list-style-type: none">• Inadequate attempt at the task.• Significant effort may be required of the reader.• Content elements omitted, or unsuccessfully dealt with, so the message is only partly communicated. |
| 1 | <ul style="list-style-type: none">• Poor attempt at the task.• Excessive effort is required of the reader.• Very little of the message is communicated. |
| 0 | <ul style="list-style-type: none">• Content is totally irrelevant or incomprehensible. |
| OR | |
| | <ul style="list-style-type: none">• Too little language to assess. |

Sample answers

Candidate A

Dear Alex,

I will come to you at 18.00. I want to watch "Fast and Furious".

I would like to eat chips, pizza and fast-food, and drink cola.

Mark and commentary **5 marks**

Very good attempt at task. All three elements of the message are clearly communicated.

Candidate B

To Alex,

Yes, it's so great. I arrive at 2.30 and I want to watch Titanic because is interesting and nice. I would like the eggs with potatoe or a hamburgers.

Mark and commentary **4 marks**

Good attempt at task. All three elements of the message are communicated. Minimal effort is required of the reader, for example, with the last sentence.

Candidate C

I'm really happy to come to your house. You can choose the film.

I like cartoons. We can eat a pop-corns and kola, and chisp, swindwich, hamburger and mustard.

Bye

Mark and commentary **3 marks**

Satisfactory attempt at task. Two elements of the message are clearly communicated. Information about what time to come is not included. Some effort is required of the reader, for example, with the last sentence.

Candidate D

Hello. I am come to my house last week. DVD is a film. I can you come at 12.30. My favourite eat it's a pizza and chips. My favourite drink a cola. Thank you.

Mark and commentary **2 marks**

Inadequate attempt at task. Only two elements of the message are communicated. Information about which DVD to watch is not included. Significant effort is required of the reader, e.g. 'DVD is a film' and 'I can you come at 12.30'.

Candidate E

Hello Alex,

I can't wait the moment when I will go to your house.

I would like to see a fantastic film like a Star wars.

Mark and commentary **1 mark**

Poor attempt at task. Very little of the message is communicated.

サンプル問題について

事業者名：ケンブリッジ大学英語検定機構(英語表記: Cambridge Assessment English)

測定ツール名：ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools(PB/CB)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号)：Listening Part 4

| | | | | | |
|--------------------|--|-------|--------------|-----|----|
| 出題科目 | 英語 Listening Part 4 | | | | |
| 出題のポイント | 会話文を聞いて特定の情報を解答用紙の指示に従って書き入れるノートテイキングの形式を用いた設問であり、正確な綴りが求められる。 | | | | |
| 主として問う能力 | 小問番号 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | | |
| | Q. 16-20 | ○ | ○ | | |
| 出題形式 | 小問番号 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | |
| | Q. 16-20 | | ○ | | |
| 主として問う技能 (英語のみ) | 小問番号 | 聞く | 読む | 話す | 書く |
| | Q. 16-20 | ○ | | | ○ |
| サンプル問題 | 次ページ以降に掲載 | | | | |
| 解答例 | 次ページ以降に掲載 | | | | |
| (参考)学習指導要領の関連項目 | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)ア「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること」</p> <p>コミ I (2)イ「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら…書いたりすること」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>聞くこと (ア)「強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること」</p> <p>聞くこと (イ)「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること」</p> <p>聞くこと (ウ)「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること」</p> <p>書くこと (ア)「文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと」</p> | | | | |

Listening • Part 4

Questions 16 – 20

You will hear a girl, Milly asking a friend about guitar lessons.
Listen and complete each question.
You will hear the conversation twice.

Guitar lessons

Day: *Saturday*

Teacher's name: **(16)**

Price per hour: **(17)** £

Place of lesson: *34 Purley Lane, near the*
(18)

Teacher's phone number: **(19)**

Must call before: **(20)** p.m.

Q Part 4

16 (Alison) GAYLE

17 26.50

18 city centre/center

19 01253 664 783

20 9/nine

Brackets () indicate optional words or letters

< Transcript >

Now look at Part 4.

You will hear a girl, Milly, asking a friend about guitar lessons.

Listen and complete each question.

You will hear the conversation twice.

Milly: Hello Dan, it's Milly here.

Dan: Hi.

Milly: I'm phoning to ask about your guitar lessons.
My parents are thinking about buying me an electric guitar.

Dan: Oh, great. Well, the teacher I go to gives lessons every Saturday morning.

Milly: What's the teacher's name?

Dan: She's called Alison Gayle. She's very good.

Milly: How do you spell her surname?

Dan: It's G A Y L E.

Milly: And how much is a lesson? My parents don't want to pay more than thirty pounds.

Dan: It's twenty-six pounds fifty for an hour. But you can have a shorter lesson if you like. I pay seventeen pounds fifty for forty minutes.

Milly: That sounds good. And where do you have the lessons? At her house?

Dan: That's right. She lives at 34 Purley Lane. It's close to the city centre. You'll find it easily.

Milly: Have you got her phone number?

Dan: Yes, it's 01253 664 783.

Milly: Thanks Dan. I'll call her tonight.

Dan: OK. Make sure you call between six o'clock and nine o'clock. She doesn't like it if people call later than that.

Milly: All right. Thanks for your help Dan.

Now listen again.

This is the end of Part 4.

サンプル問題について

事業者名：ケンブリッジ大学英語検定機構(英語表記:Cambridge Assessment English)

測定ツール名：ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools(PB/CB)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号)：Speaking Part 2

| | | | | |
|-----------------|---|-------|-------------------|----------|
| 出題科目 | 英語 Speaking Part 2 | | | |
| 出題のポイント | ペアを組む相手との対話を行い、後半は試験官の質問をベースに、受検者同士の質問者と応答者のロールプレイが求められる。説明する、意見を述べるといった、情報の受け渡しができているかどうか評価される。 | | | |
| 主として問う能力 | 小問番号 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 ○ | |
| 出題形式 | 小問番号 | 選択式 | 短答式 | 記述式 ○ |
| 主として問う技能(英語のみ) | 小問番号 | 聞く | 読む | 話す ○ |
| サンプル問題 | 次ページ以降に掲載 | | | |
| 解答例 | 次ページ以降に掲載 | | | |
| (参考)学習指導要領の関連項目 | <p>高等学校学習指導要領</p> <p>コミ I (1)ア「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (1)イ「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」</p> <p>コミ I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること」</p> <p>表現 I (1)ア「与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す」</p> <p>表現 I (2)ア「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと」</p> <p>中学校学習指導要領</p> <p>話すこと (ア)「強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること」</p> <p>話すこと (ウ)「聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること」</p> | | | |

Part 2 3 – 4 minutes (Prompt card activity)

Prompt cards are used to stimulate questions and answers of a non-personal kind. The interlocutor reads out instructions and gives a question card to one candidate and an answer card to the other. After the candidates have asked and answered the questions, they change roles, as in the example below.

Example

The interlocutor reads out these instructions and gives a question card to Candidate B and an answer card to Candidate A.

Candidate A, there is some information about a skateboarding competition. Candidate B, you don't know anything about the skateboarding competition, so ask A some questions about it. Now B, ask A your questions about the skateboarding competition and A, you answer them.

Candidate A – your answers

Skateboarding Competition
for anyone 11 – 15 years old

at
Green Park
20 June



1st prize
New Skateboard
visit www.citynews.com for more
information

Candidate B – your questions

Skateboarding Competition



- ◆ where ?
- ◆ for children ?
- ◆ date ?
- ◆ website ?
- ◆ what / win ?

There is a variety of acceptable questions which may be produced using this material. For example:

Where is the competition?
Is the competition for children?
What date is it?
Is there a website address?
What can you win?

Assessment

Examiners and marking

The quality assurance of Speaking Examiners (SEs) is managed by Team Leaders (TLs). TLs ensure all examiners successfully complete examiner training and regular certification of procedure and assessment before they examine. TLs are in turn responsible to a Professional Support Leader (PSL) who is the professional representative of Cambridge English Language Assessment for the Speaking tests in a given country or region.

Annual examiner certification involves attendance at a face-to-face meeting to focus on and discuss assessment and procedure, followed by the marking of sample Speaking tests in an online environment. Examiners must complete standardisation of assessment for all relevant levels each year and are regularly monitored during live testing sessions.

Assessment scales

Throughout the test candidates are assessed on their own individual performance and not in relation to each other. They are awarded marks by two examiners: the assessor and the interlocutor. The assessor awards marks by applying performance descriptors from the analytical assessment scales for the following criteria:

- Grammar and Vocabulary
- Pronunciation
- Interactive Communication.

The interlocutor awards a mark for global achievement using the global achievement scale.

| A2 | Global achievement |
|----|--|
| 5 | Handles communication in everyday situations, despite hesitation. Constructs longer utterances but is not able to use complex language except in well-rehearsed utterances. |
| 4 | Performance shares features of Bands 3 and 5. |
| 3 | Conveys basic meaning in very familiar everyday situations. Produces utterances which tend to be very short – words or phrases – with frequent hesitation and pauses. |
| 2 | Performance shares features of Bands 1 and 3. |
| 1 | Has difficulty conveying basic meaning even in very familiar everyday situations. Responses are limited to short phrases or isolated words with frequent hesitation and pauses. |
| 0 | Performance below Band 1. |

Assessment for *Cambridge English: Key for Schools* is based on performance across all parts of the test, and is achieved by applying the relevant descriptors in the assessment scales. The assessment scales for *Cambridge English: Key for Schools* (shown on page 48) are extracted from the overall Speaking scales on page 49.

| A2 | Grammar and Vocabulary | Pronunciation | Interactive Communication |
|----|--|--|--|
| 5 | Shows a good degree of control of simple grammatical forms. Uses a range of appropriate vocabulary when talking about everyday situations. | Is mostly intelligible, and has some control of phonological features at both utterance and word levels. | Maintains simple exchanges. Requires very little prompting and support. |
| 4 | Performance shares features of Bands 3 and 5. | | |
| 3 | Shows sufficient control of simple grammatical forms. Uses appropriate vocabulary to talk about everyday situations. | Is mostly intelligible, despite limited control of phonological features. | Maintains simple exchanges, despite some difficulty. Requires prompting and support. |
| 2 | Performance shares features of Bands 1 and 3. | | |
| 1 | Shows only limited control of a few grammatical forms. Uses a vocabulary of isolated words and phrases. | Has very limited control of phonological features and is often unintelligible. | Has considerable difficulty maintaining simple exchanges. Requires additional prompting and support. |
| 0 | Performance below Band 1. | | |